

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第9号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成21年12月25日 04時10分ごろ
発生場所	兵庫県阪神港尼崎西宮芦屋区
事故等調査の経過	平成22年1月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	砂利運搬船 第五住 ^{すみふく} 福丸、498トン
船舶番号、船舶所有者等	130592、阿波海運有限公司
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	推進器翼に曲損及び船底に擦過傷
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、碎石約1,200トンを積載し、阪神港尼崎西宮芦屋区において着岸作業中、平成21年12月25日04時10分ごろ、船底に衝撃を感じた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期
分析	乗組員等の関与 あり 船体・機関等の関与 なし 気象・海象の関与 なし 判明した事項の解析 本船は、阪神港尼崎西宮芦屋区において、岸壁近くに水深の浅いところがあることを知っていたが、着岸する際にそれを回避するよう操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が阪神港尼崎西宮芦屋区において、岸壁に着岸する際、水深の浅い箇所を回避するよう、操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。